

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和元年度第1回臨時理事会議事録

I. 開催日時：令和元年5月10日（金）

11:00～11:13

II. 会場：札幌コンベンションセンター

104+105 会議室

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目

1-1

電話 011-817-1010

III. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）

現在理事数 20 名

定足数 11 名

出席理事数 20 名

出席した理事の氏名

市川哲雄，大川周治，志賀 博，横山敦郎（議事録作成者），馬場一美，大久保力廣，水口俊介，越野 寿，田中昌博，小野高裕，澤瀬 隆，河相安彦，高橋 裕，山口泰彦，細川隆司，武部 純，西村正宏，窪木拓男，津賀一弘，服部佳功

IV. 監事現在数および出席監事氏名（敬称略）

監事現在数 2 名

出席した監事の氏名 櫻井 薫，山森徹雄

V. 陪席者氏名（敬称略）

理事長幹事 永尾 寛，飯田 崇

総務幹事 坂口 究

事務局 石川義孝，広野 忍

VI. 議長の氏名（敬称略）

市川哲雄

VII. 議題

第1号議案 令和元年度定時総会（6月16日開催）召集に関する件

第2号議案 新入会員に関する件

第3号議案 規程集の改正に関する件

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻，理事長が議長席に着き開会を宣し，本理事会は定款第44条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，議題の審議に入った。

2) 議案の審議状況および議決結果等

第1号議案 令和元年度定時総会（6月16日開催）召集に関する件

議長から，別紙資料に基づき，令和元年度定時総会

を次の通り開催したい旨が提案された。

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した。

(1) 開催日時：令和元年6月16日（日）

14:30～15:30

(2) 開催場所：東京医科歯科大学 歯科棟南4階
歯学部特別講堂

(3) 議案

第1号議案 公益社団法人日本補綴歯科学会 平成30年度貸借対照表，正味財産増減計算書，および財産目録承認の件

第2号議案 公益社団法人日本補綴歯科学会 名誉会員推薦の件

第3号議案 公益社団法人日本補綴歯科学会 理事選任の件

第4号議案 公益社団法人日本補綴歯科学会 監事選任の件

第2号議案 新入会員に関する件

議長から，定款第7条の規定により，2019年3月1日から2019年4月21日までの正会員144名，準会員5名および賛助会員1社の入会者について別紙資料に基づき承認したい旨の提案がなされた。

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第3号議案 規程集の改正に関する件

議長から，規程集における以下の規程の改正について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた。
公益社団法人日本補綴歯科学会 広報委員会規程【一部改正】

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した。

IX. 報告事項

1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況について

代表理事および業務執行理事から，特に報告事項はない旨の報告がなされた。

2) 寄附金受入状況について

水口財務担当理事から，寄附金取扱規則第6条の規定により，別紙資料を基に，報告対象期間（平成31年3月1日～平成31年3月31日）には，寄附金の受入はなかった旨の報告がなされた。続いて，同，別紙資料を基に，平成30年11月に受入があり，報告がなされていなかった寄附金3件についての報告がなされた。

3) 令和元年度第 1 回定時理事会について

横山常務理事から、5 月末に開催予定の令和元年度第 1 回定時理事会を书面決議で行う旨、ならびに同会議を執り行う日程等についての説明および報告がなされた。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので、議長は 11 時 13 分閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長および監事が記名押印する。

令和元年 5 月 10 日			
公益社団法人日本補綴歯科学会			
議長	代表理事（理事長）	市 川 哲 雄	㊟
監事		櫻 井 薫	㊟
監事		山 森 徹 雄	㊟

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会 2019 年度臨時総会議事録

I. 開催日時：2019 年 5 月 10 日（金）

14：30～15：55

II. 開催場所：札幌コンベンションセンター 特別会議場

札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1

III. 出席した社員の数およびその行使することができる議決権の数

1) 議決権のある当法人の社員総数	284 名
2) 総社員の議決権の数	284 個
3) 出席社員数（委任状による者を含む）	221 名
4) この議決権の総数	221 個

IV. 出席役員等（敬称略）

代表理事 市川哲雄

理事 大川周治, 志賀 博, 横山敦郎（議事録作成者）, 馬場一美, 大久保力廣, 水口俊介, 越野 寿, 田中昌博, 小野高裕, 澤瀬 隆, 高橋 裕, 山口泰彦, 細川隆司, 武部 純, 西村正宏, 窪木拓男, 津賀一弘, 服部佳功

監事 櫻井 薫, 山森徹雄

V. 開会

定刻, 横山常務理事から本日の社員総会は定款第 26 条に規定する定足数に達している旨の報告がなされた。次いで, 定款第 24 条の規定により, 越智守生代議員が議長に選ばれて議長席につき, 本会は適法に成立したので開会する旨を宣し, 直ちに議事に入った。

VI. 議事の経過の要領およびその結果

【決議事項】

第 1 号議案 名誉会員推薦の件

議長の指名により, 横山常務理事から, 別紙資料「名誉会員推薦書および略歴」に基づき, 東関東支部の會田雅啓会員, 川良美佐雄会員, 東海支部の伊藤 裕会員, 星合和基会員, 関西支部の玉置敏夫会員に関する名誉会員の推薦書および略歴等の説明があった。

次いで, 議長が, 會田雅啓会員, 川良美佐雄会員, 伊藤 裕会員, 星合和基会員, 玉置敏夫会員を名誉会員へ推薦したい旨の承認を求めたところ, 賛成多数をもって承認された。

第 2 号議案 2 年以上会費未納に伴う会員の除名の件

議長の指名により, 横山常務理事から, 別紙資料「2 年以上の会費未納者一覧」に基づき, 平成 31 年 3 月末日における 2 年以上の会費未納者に対する除名の説明があった。

次いで, 議長が 2 年以上の会費未納者に対して除名したい旨の承認を求めたところ, 賛成多数をもって承認された。

VII. 報告事項（事業報告以外の事項）

市川理事長から, 別紙資料「2019 年臨時社員総会理事長報告」を基に, 「専門医・認定医・修練医制度」, 「事務局の運営, 財政の運営」, 「日本栄養改善学会との連携」, 「従来からのルーティーン的活動・取り組み」, 「今期での新たな活動・取り組み」, 「日本歯科医学会, (一社) 日本歯科医学会連合, (一社) 日本歯科専門医機構, (一社) 日本歯学系学会協議会および日本学術会議と本会との関係」それぞれについての現況説明ならびに報告がなされた。

大川副理事長から, 補綴歯科認定医の認定時期の変更点（認定医も専門医と同様に, 申請の締切を 3 月末と 9 月末の年 2 回とし, それぞれ 4 月と 10 月の修練医・認定医・専門医認定委員会で審査を行う）についての報告がなされた。志賀副理事長からは, 特に報告事項はない旨の報告がなされた。

横山常務理事からは, 別紙資料「2019 年度年度事業計画」と「社員（会員）の異動状況書」に基づき, 2019 年度の事業計画と平成 31 年 3 月 31 日現在における社員（会員）の異動状況についての報告と, 6 月の定時総会において, 定款 31 条に基づき, 次期理事, 監事を選任する予定である旨の報告がなされた。

馬場常務理事, 大久保理事, 水口理事, 越野理事, 田中理事, 小野理事, 澤瀬理事, 高橋理事, 山口理事, 細川理事, 武部理事, 西村理事, 窪木理事, 津賀理事, 服部理事, 松村委員長, 鱒見委員長から, それぞれ平成 30 年度 6-3 月期における職務の活動状況の報告がなされた。

出席した社員のなかから, 1. 「咀嚼障害」について, 診断や病態, 評価法, 病名等に関する本会の見解, 2. 2020 Annual Scientific Session GNYAP (The Greater New York Academy of Prosthodontics) Meeting に関する進捗状況等についての質問がなされ, それぞれ市川理事長, 細川理事から説明がなされた。

議長は, 以上をもって本日の議事は終了した旨を述べ, 15 時 55 分閉会を宣し, 解散した。

以上の決議を明確にするため, この議事録を作成し, 議長および当該会議において選任された出席者の代表 2 名が, これに記名押印する。

令和元年 5 月 10 日

公益社団法人日本補綴歯科学会

議長	越 智 守 生	㊟
理事	市 川 哲 雄	㊟
理事	大 川 周 治	㊟

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和元年度第1回定時理事会
みなし決議に関する理事会議事録

I. 開催日時：令和元年5月27日（月）～令和元年5月31日（金）

II. 開催形式：メール会議

III. 決議形式：書面

IV. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）

現在理事数 20名

定足数 11名

出席理事数 20名

出席した理事の氏名

市川哲雄（議事録作成者）、大川周治、志賀 博、横山敦郎、馬場一美、大久保力廣、水口俊介、越野 寿、田中昌博、小野高裕、澤瀬 隆、河相安彦、高橋 裕、山口泰彦、細川隆司、武部 純、西村正宏、窪木拓男、津賀一弘、服部佳功

V. 監事現在数および出席監事氏名（敬称略）

監事現在数 2名

出席した監事の氏名 櫻井 薫、山森徹雄

VI. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 平成30年度事業報告の承認に関する件

定款第54条の規定により、平成30年度事業報告を別紙資料の通りとすること。

第2号議案 平成30年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録の承認に関する件

定款第54条の規定により、平成30年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録を別紙資料の通りとすること。

第3号議案 新規指導医承認の件

専門医制度規則第9条の規定により、別紙資料の通り、平成31年4月22日開催の平成31年度第1回修練医・認定医・専門医認定委員会において適格とされた7名を新規指導医とすること。

第4号議案 新規終身指導医承認の件

専門医制度施行細則第11条の規定により、別紙資料の通り、平成31年4月22日開催の平成31年度

第1回修練医・認定医・専門医認定委員会において適格とされた3名を新規終身指導医とすること。

第5号議案 新規認定研修機関承認の件

専門医制度規則第5条の規定により、別紙資料の通り、平成31年4月22日開催の平成31年度第1回修練医・認定医・専門医認定委員会において適格とされた1件を新規認定研修機関（甲）とすること。

第6号議案 規程集改正に関する件

個人情報保護に関する以下の基本方針、規程、細則および誓約書を制定すること。

公益社団法人日本補綴歯科学会 個人情報保護に関する基本方針【制定】

公益社団法人日本補綴歯科学会 個人情報保護に関する規程【制定】

公益社団法人日本補綴歯科学会 個人情報保護に関する運用細則【制定】

公益社団法人日本補綴歯科学会 個人情報保護に関する誓約書【制定】

VII. 報告事項

1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について

代表理事・業務執行理事からの報告事項は特になし。

2) 寄附金受入状況について

寄附金取扱規則第6条の規定により、別紙資料を基に、寄附金が平成31年4月1日～平成31年4月30日に2件、令和元年5月1日～令和元年5月20日に8件それぞれあり、理事長が承認した。

VIII. VIの事項の提案をした理事

理事 市川哲雄

IX. 理事会の決議があったものとみなされた日

令和元年5月31日

上記のとおり、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定により、理事会の決議があったものとみなされたので、これを証するためこの議事録を作成した。

公益社団法人日本補綴歯科学会

議事録作成者 理事長 市川 哲 雄 ㊞

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和元年度第2回定時理事会議事録

I. 開催日時：令和元年6月16日（日）

11:50～11:57

II. 会場：東京医科歯科大学 歯科棟南4階 演習室

〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45

電話 03-5803-5419

III. 理事現在数、定足数、理事出席数とその氏名および欠席した理事の氏名（敬称略）

理事現在数 20名

定足数 11名

理事出席数 17名

出席した理事の氏名

市川哲雄，大川周治，志賀 博，横山敦郎（議事録作成者），馬場一美，水口俊介，越野 寿，田中昌博，小野高裕，澤瀬 隆，河相安彦，山口泰彦，細川隆司，武部 純，西村正宏，窪木拓男，津賀一弘

欠席した理事の氏名

大久保力廣，高橋 裕，服部佳功

IV. 監事現在数および出席した監事の氏名（敬称略）

監事現在数 2名

出席した監事の氏名 櫻井 薫，山森徹雄

V. 陪席者氏名

JPR 編集委員会委員長 松村英雄

倫理審査委員会委員長 鱒見進一

利益相反委員会委員長 小宮山彌太郎

特命委員会2委員長代理 山口哲史

理事長幹事 永尾 寛，飯田 崇

総務幹事 坂口 究

事務局 石川義孝，広野 忍

VI. 議長の氏名

市川哲雄

VII. 議題

第1号議案 公益法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件

第2号議案 新入会員に関する件

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻，理事長が議長席に着き開会を宣し，本理事会は定款第44条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，議題の審議に入った。

2) 議案の審議状況および議決結果等

第1号議案 公益法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件

議長から，公益法人の事業報告等に関する定期提出書類に関する件について，別紙資料に基づき説明がなされた。当該書類の提出につき承認願いたい旨が諮られた。

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第2号議案 新入会員に関する件

議長から，定款第7条の規定により，平成31年4月22日から令和元年5月31日までの正会員29名の入会者について別紙資料に基づき承認したい旨の提案がなされた。

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した。

IX. 報告事項

1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況について

市川理事長から，今年度実施された日本歯科医学会会長選挙の結果，日本歯科専門医機構の近況などについての報告がなされた。その他，業務執行理事からは，特に報告事項はない旨の報告がなされた。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので，議長は11時57分閉会を宣し，解散した。

この議事録が正確であることを証するため，出席した理事長および監事が記名押印する。

令和元年6月16日

公益社団法人日本補綴歯科学会

議長 代表理事（理事長）市 川 哲 雄 ㊟

監事 櫻 井 薫 ㊟

監事 山 森 徹 雄 ㊟

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和元年度定時総会議事録

I. 開催日時：令和元年 6 月 16 日（日）

14：30～15：14

II. 開催場所：東京医科歯科大学 歯学部特別講堂（歯科棟南 4 階）

〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45

III. 出席した社員の数およびその行使することができる議決権の数（敬称略）

- | | |
|----------------------|-------|
| 1) 議決権のある当法人の社員総数 | 284 名 |
| 2) 総社員の議決権の数 | 284 個 |
| 3) 出席社員数（委任状による者を含む） | 226 名 |
| 4) この議決権の総数 | 226 個 |

IV. 出席役員等

代表理事 市川哲雄

理事 大川周治、志賀 博、横山敦郎（議事録作成者）、馬場一美、水口俊介、越野 寿、田中昌博、小野高裕、澤瀬 隆、山口泰彦、細川隆司、武部 純、西村正宏、窪木拓男、津賀一弘

監事 櫻井 薫、山森徹雄

V. 開会

定刻、横山常務理事から本日の社員総会は定款第 26 条に規定する定足数に達している旨の報告がなされた。次いで、定款第 24 条の規定により、若林則幸代議員が議長に選ばれて議長席につき、本会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

VI. 議事の経過の要領およびその結果

【報告事項】

平成 30 年度事業報告の件

議長の指名により、横山常務理事から、別紙資料「平成 30 年度事業報告書」に基づき、当法人の平成 30 年度における事業報告が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 平成 30 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および財産目録承認の件

議長の指名により、水口財務理事から、別紙資料「計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および財産目録」に基づき、平成 30 年度における貸借対照表、正味財産増減計算書等の説明があった。

これを受けて櫻井監事から、別紙資料「監査報告書」に基づき、この事業報告および決算書類には前年度の

状況が正確に記載されており、適正である旨の説明があり、議長がその承認を求めたところ、満場異議なく承認可決された。

第 2 号議案 理事選任に関する件

議長の指名により、大川次期理事長候補から、現職理事の任期満了に伴い、その後任者を選任する必要がある旨の説明がなされ、続いて、別紙資料「理事予定者一覧」に基づき、後任の理事として 20 名の理事候補者を推薦したい旨の提案がなされた。

これを受けて議長が、後任の理事として、20 名の理事候補者の選任に関する承認を求めたところ、満場一致をもって承認された。

なお、被選任者は、全員その就任を承諾した。

理事 飯沼利光、大川周治、大久保力廣、岡崎定司、河相安彦、河野文昭、窪木拓男、佐藤裕二、志賀 博、武部 純、津賀一弘、服部佳功、馬場一美、藤澤政紀、細川隆司、水口俊介、村田比呂司、山口泰彦、山森徹雄、横山敦郎

第 3 号議案 監事選任に関する件

議長の指名により、大川次期理事長候補から、現職監事の任期満了に伴い、その後任者を選任する必要がある旨の説明がなされ、続いて、別紙資料「監事予定者一覧」に基づき、後任の監事として 2 名の監事候補者を推薦したい旨の提案がなされた。

これを受けて議長が、後任の監事として、2 名の監事候補者の選任に関する承認を求めたところ、満場一致をもって承認された。

なお、被選任者は、全員その就任を承諾した。

監事 小出 馨、佐藤 亨

VII. 報告事項（事業報告以外の事項）

市川理事長、大川副理事長、志賀副理事長、横山常務理事からは、特に報告事項はない旨の報告がなされた。続いて、横山常務理事から、別紙資料を基に、2019 年度 4-6 月期を中心に、平成 30 年度 6-3 月期および 2019 年度 4-6 月期の各委員会活動を総括した報告がなされた。

議長は、以上をもって本日の議事は終了した旨を述べ、15 時 14 分閉会を宣し、解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および当該会議において選任された出席者の代表 2 名が、これに記名押印する。

令和元年 6 月 16 日

公益社団法人日本補綴歯科学会定時総会

議長	若 林 則 幸	㊞
理事	市 川 哲 雄	㊞
理事	大 川 周 治	㊞

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 30 年度 6-3 月期および 2019 年度 4-6 月期委員会活動報告
(2018 年 6 月 16 日～2019 年 6 月 16 日)

I.	はじめに	(理事長：市川 哲雄)
II.	学術委員会	(委員長：馬場 一美)
III.	編集委員会	(委員長：大久保力廣)
IV.	財務委員会	(委員長：水口 俊介)
V.	広報委員会	(委員長：越野 寿)
VI.	医療問題検討委員会	(委員長：田中 昌博)
VII.	診療ガイドライン委員会	(委員長：小野 高裕)
VIII.	教育問題検討委員会	(委員長：澤瀬 隆)
IX.	修練医・認定医・専門医制度委員会	(委員長：河相 安彦)
X.	修練医・認定医・専門医認定委員会	(委員長：高橋 裕)
XI.	社会連携委員会	(委員長：山口 泰彦)
XII.	国際渉外委員会	(委員長：細川 隆司)
XIII.	規程検討委員会	(委員長：武部 純)
XIV.	用語検討委員会	(委員長：西村 正宏)
XV.	研究企画推進委員会	(委員長：窪木 拓男)
XVI.	特命委員会 1	(委員長：津賀 一弘)
XVII.	特命委員会 2	(委員長：服部 佳功)
XVIII.	JPR 編集委員会	(委員長：松村 英雄)
XIX.	倫理審査委員会	(委員長：鱒見 進一)
XX.	利益相反委員会	(委員長：小宮山彌太郎)
XXI.	優秀論文賞推薦委員会	(委員長：大川 周治)
XXII.	学会賞推薦委員会	(委員長：志賀 博)

今期の活動が次期の学会の発展に少しでもつなげられることになればと思っております。

I. はじめに

公益社団法人日本補綴歯科学会 理事長 市川哲雄

公益社団法人日本補綴歯科学会の平成 30 年 6 月 16 日～令和元年 6 月 16 日までの委員会活動を報告いたします。今期は私の理事長期の後半の仕上げの期であり「歯科の基盤を支え、創る補綴の矜持」のもと、将来の補綴歯科の発展のために挑戦と進化を見える形にすることを念頭に事業を遂行してまいりました。事務局の安定化と財務の健全化、従来からのルーティンの委員会活動の活性化とともに、修練医・認定医制度の設置、日本栄養改善学会との連携、プレスリリース、学生技能コンペティションなどの新たな事業も行いました。ご支援とご協力をいただきありがとうございます。

II. 学術委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：馬場一美

副委員長：江草 宏

委員：疋田一洋、馬場俊輔、鮎川保則、上田貴之、
笛木賢治、榎原絵理、峯 篤史、
横山紗和子

幹事：高場雅之

2. 活動状況

学術委員会を 6 回、プログラム委員会を 2 回、JPS student clinical skills competition (JPS SCSC) 審査委員会を 1 回開催し、以下の活動を行った。

1) 第 128 回学術大会企画準備

- (1) 会期：2019 年 5 月 10 日（金）～ 5 月 12 日（日）
- (2) 会場：札幌コンベンションセンター
- (3) 主管校：北海道大学
- (4) 大会長：横山敦郎，実行委員長：齋藤正恭，準備委員長：山本 悟
- (5) 総演題数：233 演題
（課題口演：9 演題，一般口演：58 演題，ポスター：162 演題，専門医ケースプレゼンテーション：4 演題）
- (6) 学術企画

●理事長講演：

「歯科補綴学の本質を探究する」

●特別講演：

「粘菌の用不用適応能に倣った形状最適化」

●海外特別講演：

「Computer-aided engineering of complete dentures and implant prostheses: Clinical experiences with both traditional impressions and intraoral scanning」

●シンポジウム

- 1：「ブラキシズムと上手につきあうために」
- 2：「補綴学的，歯周病学的観点から見た連結・非連結」
- 3：「認知症の現状，補綴歯科治療と今後の研究展開」
- 4：「Biodental Engineering—再生歯科補綴に向けた人工臓器の創成—」
- 5：「補綴のアウトカムを真剣に考える—口腔栄養関連サービスを多職種で構築するために—」
- 6：「口腔内スキャナーの臨床」

●臨床リレーセッション

- 1：「審美領域におけるインプラント治療—今何ができるか，どこまでやるか—」
- 2：「部分床義歯の力学を再考する—天然歯を守るインプラント支持の活かし方—」

●臨床スキルアップセミナー

- 1：「顎機能障害に対する補綴学的アプローチ」
- 2：「高齢者における口腔リハビリテーションと補綴歯科治療」

●パネルディスカッション：

「接着ブリッジの古今東西—メタルとジルコニア，2 リテーナーとカンチレバー—」

●研究教育セミナー：「歯科補綴学研究の出口戦略」

●歯科医療安全対策推進セッション：「診療室・技工室における作業環境」

●専門医研修会：「補綴歯科専門医として身につけるべきコンピテンス」

●委員会セミナー

- 1：「歯科補綴学専門用語集—改訂のポイント—」（用語検討委員会）
- 2：「舌接触補助床アップデート—ここが変わった：エビデンスと臨床—」（診療ガイドライン委員会）

●市民フォーラム：

「飲み込み障害を予防して美味しく食べよう」

●イブニングセッション

- 1：「歯科補綴治療に関係した感覚機能の解明に関する将来的展望」
- 2：「補綴歯科における「技能教育」を考える」
- 3：「口腔機能検査の基準値を考える」
- 4：「補綴介入で歯周炎患者の残存歯を守れ！～各治療オプションを最大限に活用するための補綴戦略～」
- 5：「歯科補綴学研究者による iPS 細胞研究が拓く病態解析と創薬の未来」
- 6：「MI 時代のインプラントオーバーデンチャー～超高齢社会に即した最適設計を考える～」

●ハンズオンセミナー

- 1：「口腔内スキャナーの実践」
- 2：「口腔機能検査の活用」
- 3：「軟質材料を用いたリラインの実践—技工操作から調整，除去まで—」
- 4：「ファイバーポストレジンコアをマスターする」
- (7) 抄録登録時の倫理規定の改定，演題登録システムの改善
- (8) 他学会との共催，後援
日本老年歯科学会，日本デジタル歯科学会，日本口腔インプラント学会，日本接着歯学会
- (9) 大会期間中に課題口演賞 9 演題ならびにポスター発表 162 演題の審査・集計課題口演優秀賞 3 演題，優秀ポスター賞（デンツプライシロナ：6 演題，カボデンタル賞：2 演題）の審査員の選考
- (10) プログラム・企画演題抄録・一般演題・ポスター抄録
プログラム・企画演題抄録集の印刷
一般演題・ポスター抄録集ホームページへのアップロード（学会員ダウンロード用）
- (11) スマートフォンを用いたリアルタイムアン

ケート (Google フォーム) の運用

(12) ブランケット貸出システムの運用 (SDGs (Sustainable Development Goals) の検討)

2) 「2040 年への歯科イノベーションロードマップ」の作成 (研究企画推進委員会と連携)

3) 「日本学術会議 臨床系歯学分科会アンケート」の作成

4) 歯学部学生技能コンペティション「JPS student clinical skills competition (SCSC)」の企画と広報 (教育問題検討委員会と連携)

(1) 会期: 2019 年 6 月 16 日 (日)

(2) 会場: 株式会社ジーシー / Corporate Center

(3) 主管: 学術委員会, 教育問題検討委員会

(4) 審査委員: 馬場一美, 疋田一洋, 峯 篤史, 澤瀬 隆, 山下秀一郎

(5) 記者会見ならびに学術大会における広報

5) 補綴歯科治療過程における感染対策指針 2019 (診療ガイドライン委員会と連携)

「ユニットの消毒」「歯科用ユニット水の水質管理」

「オーラルスキャナーの感染対策」

6) 医療記事への対応 (読売新聞社)

7) 会議資料・打ち合わせ資料の電子化

Ⅲ. 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長: 大久保力廣

副委員長: 藤澤政紀

委員: 石垣尚一, 羽鳥弘毅, 福西美弥, 正木千尋, 谷田部 優, 金澤 学, 二川浩樹, 松村英雄

幹事: 佐藤洋平

2. 活動状況

委員会活動 編集委員会を 1 回 (平成 30 年 5 月 18 日 (金)), その他の編集作業や審議を適宜メール上で行った。

1) 10 巻 3 号 (2018.7.10 発行)

依頼論文: 8 編, 専門医症例報告: 7 編

+ 広告 合計 110 頁, 発行部数 6,463 部

2) 10 巻 4 号 (2018.10.10 発行)

特別企画論文: 1 編, 依頼論文: 6 編, 原著論文: 1 編, 技術紹介論文: 1 編, 専門医症例報告: 6 編

+ 前付・後付, 広告 合計 132 頁 発行部数 6,515 部

3) 11 巻 1 号 (2019.1.10 発行)

依頼論文: 6 編, 原著論文: 1 編, 専門医症例報告: 6 編

+ 前付・後付, 広告 合計 110 頁 発行部数 6,509 部

4) 11 巻 2 号 (2019.4.10 発行)

依頼論文: 8 編, 技術紹介論文: 1 編, 専門医症例報告: 8 編

+ 前付・後付, 広告 合計 115 頁 発行部数 6,354 部

5) 平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月末時点の投稿論文数は, 原著 5 編, 技術紹介 2 編, 症例報告 2 編, JPR からのセカンダリーパブリケーション 1 編であり, 受理 4 編, 査読中 3 編, 返却 2 編, 取り下げ 1 編である。

6) 新企画

・第 1 回 座談会 (10 巻 4 号掲載) ((公社) 日本補綴歯科学会のこれまでの 10 年間を振り返り補綴のアイデンティティーと将来像を語る)

・誌上ディベートへの読後感公募

・第 2 回 座談会 (平成 31 年 4 月 15 日開催, 11 巻 4 号掲載予定)

(公社) 日本補綴歯科学会のイノベーションロードマップを語る

Ⅳ. 財務委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長: 水口俊介

副委員長: 山下秀一郎

委員: 坂口 究

幹事: 猪越正直

2. 活動状況

1) 学術大会および各支部会計報告を基にした収支計算書の作成 (1 か月に 1 回)

2) 第 15 期決算報告書 (自: 平成 30 年 4 月 1 日, 至: 平成 31 年 3 月 31 日) の作成と検討

3) 第 127 回学術大会決算案の検討および承認

4) 第 128 回学術大会予算案の検討および承認

5) 平成 31 年度事業計画を基にした予算概要の審議

6) 平成 31 年度収支予算案の作成

7) 平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込みに関する審議

8) プロソ'18 収支決算案の検討および承認

9) プロソ'19 収支決算案の検討および承認

- 10) 計 5 回の財務委員会（内 1 回はメール会議）
- 11) 公印の管理
- 12) 各支部および委員会等からの問い合わせへの回答

V. 広報委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：越野 寿

副委員長：都尾元宣

委員：菊池雅彦，猪子芳美，岡本和彦，月村直樹，
重田優子，中村隆志，田地 豪，松浦尚志

幹事：豊下祥史

2. 活動状況

1) 広報委員会の開催

メール会議による委員会を 28 回開催した。会議の内容はメールマガジンの内容確認と修正および SNS の立ち上げに関わる協議を行った。

2) 日本補綴歯科学会ホームページの修正等に関わる打ち合わせの開催

第 3 回広報委員会における広報委員会の HP 運営方針に基づき，平成 30 年 10 月 11 日に今後の本会ホームページの在り方について，ホームページ管理企業と打ち合わせを行った。

3) メールマガジンの発行

平成 30 年 6 月 16 日から令和元年 6 月 16 日までの間に JPS メールマガジン No.137 ～ No.162 を発行した。

4) 学会ホームページの改訂，更新

平成 30 年 6 月 16 日から令和元年 5 月 23 日までに 136 件の改訂，更新を行った（令和元年 5 月 20 日現在）。

5) ニュースレター（Letter for Members）の発行

平成 30 年 6 月 16 日から令和元年 6 月 16 日までに下記の発行を行った。

平成 30 年 10 月号（No.63）

●第 127 回学術大会

—第 127 回学術大会

—平成 30 年度専門医研修単位認定セミナー

—市民フォーラム

●受賞者の声

平成 29 年度学会優秀論文賞

第 127 回学術大会優秀賞

平成 31 年 4 月号（No.64）

●支部学術大会報告

●Centennial Meeting of the Academy of

Prosthodontics 参加報告

●11th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics 開催報告

●46th Indian Prosthodontic Society National Conference Mangalore 2018 報告

●第 4 回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ'18」開催報告

6) SNS の活用

Facebook の本会公式アカウントを取得し，平成 31 年 3 月 12 日より開設，運用を開始した。これまでより一段と早い情報発信を可能にした。また，運用に際し，ソーシャルメディアポリシーを策定した。

運用開始から令和元年 5 月 24 日までに 20 件の記事を配信した。

7) HP リニューアル

一般向けのホームページの表紙をリニューアルした。

VI. 医療問題検討委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：田中昌博

副委員長：五味治徳

委員：近藤尚知，佐藤裕二，鈴木哲也，竹内義真，
田上直美，南 弘之

オブザーバー：志賀 博，山森徹雄

幹事：田中順子

2. 活動状況

委員会は 1 回開催し，必要に応じて適宜メール会議を実施し，以下のことを行った。

1) 歯学系学会社会保険委員会連合（歯保連）関連

(1) 山森オブザーバーから「歯保連試案 2019」の作成において，日本補綴歯科学会が担当する項目に関する試案の作成を今期，次期当委員会に継続して作業を進めてほしい旨の依頼があった。

(2) 依頼時期が 2019 年 5 月中旬であったため新年度委員会の移行直前であるが，当学会での担当数が多く，また締め切りが 8 月末のため，5 月から開始することで，了承した。

2) 平成 30 年度保険収載技術である「高強度コンポジットレジンブリッジ」，「大白歯 CAD/CAM 冠」，「有床義歯咀嚼機能検査」，「口腔内装置 1，2，3」，「有床義歯内面適合法（軟質材料）」の内容を，関

越支部 (2018.8.5), 九州支部 (2018.8.26), 中国・四国支部 (2018.9.1), 東北・北海道支部 (2018.10.4) での生涯学習公開セミナーで解説した。

3) 2018 年 9 月 7 日発行のメールマガジンへの医療問題検討委員会からのメッセージを寄稿した。

4) 厚生労働省からの照会事項について

(1) 2018 年 9 月 28 日に「ノンクラスプデンチャーに関する現時点での(社)日本補綴歯科学会としての見解」に関する照会事項に対して、ノンクラスプデンチャーに関する見解は平成 23 年、24 年の見解と変わっていないことを回答した。

(2) 2018 年 12 月 11 日に「下顎大臼歯部の歯根分割し保存した歯に 1 つのブロックから CAD/CAM 冠を製作することに関して適切な形態付与の観点からの考え」に関する照会事項に対して、回答を行った。

(3) 2019 年 2 月 14 日に「高強度硬質レジンブリッジの適応に関して、金属アレルギーを有する患者の場合、第 3 大臼歯を支台歯とする、ヘミセクションされた歯を支台歯とする、歯根分割歯を支台歯とする場合」に関する照会事項に対して、回答を行った。

5) 2019 年 2 月 16 日に開催された医療事故調査制度研修会に竹内委員が出席し、報告書が提出された。

6) 2020 年度医療技術評価提案書について

(1) 日本歯科医師会主催による「次期診療報酬改定における医療技術評価提案書に係る説明会」が 2019 年 3 月 13 日に日本歯科医師会館にて開かれ、田中昌博委員長と田中順子幹事が出席した。

(2) 2020 年度医療技術評価提案書(案)の 9 技術に関して、第 9 回委員長会(メール会議)を 2019 年 3 月 25 日に開催して、各委員長から意見を集めた。

(3) 最終的に本学会からの 2020 年度提案書は 11 題作成された。また、日本口腔インプラント学会、日本接着歯学会、日本磁気歯科学会、日本顎顔面インプラント学会とも提案書関係学会として協力作成を行った。

- ・磁性アタッチメントを用いた義歯の支台装置
- ・筋電計による歯ぎしり検査
- ・在宅歯科診療時の臼歯単独冠へのシリコーンゴム印象材による合印象法
- ・口腔内スキャナーによる光学印象法
- ・最後方臼歯への CAD/CAM によるチタンクラウン製作のための咬合印象法

- ・口腔内バキュームチップを用いた接着操作加算
- ・接着ブリッジ装着料内面処理加算
- ・硬質レジンジャケット冠装着料内面処理加算
- ・線鉤 二腕鉤の鋳造レストの算定
- ・失活前歯充填の前処置としての築造
- ・顎関節症管理料

(4) 作成した 11 題の提案書を 2019 年 5 月 8 日に日本歯科医学会へ提出した。

(5) 学会歯科医療協議会にて提出された各提案書のブラッシュアップ等が行われ、2019 年 5 月 23 日に内容充実のための指摘と訂正等の依頼があり、現在、修正している。

7) 厚生労働省保険局医療課から選定療養に導入すべき事例等に関する提案・意見募集の連絡があり、今回は提案を見送ることに検討された。

VII. 診療ガイドライン委員会

1. 委員会構成

委員長：小野高裕

副委員長：會田英紀

委員：飯沼利光、尾澤昌悟、中島純子、松田謙一、水口 一

幹事：長谷川陽子

2. 活動状況

- ・平成 30 年度第 2 回診療ガイドライン委員会 2018 年 7 月 9 日(月)
- ・ブラキシズムの診療ガイドライン(治療編)システムティックレビュー会議 2018 年 11 月 30 日(金)
- ・平成 30 年度第 3 回診療ガイドライン委員会 2018 年 11 月 30 日(金)
- ・ブラキシズムの診療ガイドライン(治療編)推奨文決定会議 2019 年 2 月 15 日(金)
- ・摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン推奨文決定会議 2019 年 3 月 18 日(月)
- ・平成 30 年度第 4 回診療ガイドライン委員会 2019 年 3 月 18 日(月)
- ・令和 1 年第 1 回診療ガイドライン委員会 2019 年 5 月 11 日(土)

3. 活動内容

- 1) 「補綴歯科治療過程における感染対策指針」の改訂作業 (http://www.hotetsu.com/s/doc/infection_measure.pdf)

本指針について改訂草案をまとめ、診療ガイドライン委員会および学術委員会での査読を終え、委員長会への報告を終え、日本歯科医学会に外部評価を依頼する予定である。

- 2) 「リラインとリベースのガイドライン」の改訂作業 (http://www.hotetsu.com/s/doc/reline_rebase_guideline.pdf)

Minds 収載を目指した改訂作業を進めた。2 次スクリーニング予定の論文について構造化抄録が完成し、次期 CPG 委員会でシステマティックレビューおよびエビデンスの総体評価を行う予定である。

- 3) 「ブラキシズムの診療ガイドライン」治療編の作成

「ブラキシズムの診療ガイドライン 睡眠時ブラキシズム患者に対する各種の検査について」 (http://hotetsu.com/s/doc/sb_guideline2016.pdf) に引き続き、治療編の策定を目指して、システマティックレビュー、エビデンスの総体評価、推奨文決定会議を行った。現在推奨文および解説の執筆中であり、2019 年度の公開を目指して作業を進めている。

- 4) 「摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床 (PAP) の診療ガイドライン」の改訂作業 (<http://hotetsu.com/j/doc/pap.pdf>)

システマティックレビュー、エビデンスの総体評価を経て推奨文決定のためのパネリスト会議を開催した。今後、現在推奨文および解説文の修正を行っており、日本老年医学会との共同作業で 2019 年度の公開を目指して作業を進めている。

- 5) ガイドラインワークショップ等への参加

第 21 回診療ガイドライン作成グループ意見交換会 (2018 年 11 月 17 日 (土)、飯沼委員)

VIII. 教育問題検討委員会

1. 委員会構成

委員長：澤瀬 隆

副委員長：築山能大

委員：河野文昭、古屋純一、山下秀一郎、
権田智也

幹事：黒嶋伸一郎

2. 活動状況

活動の目的

卒前卒後の補綴学教育のあり方に関する基準を明確

に示し、専門医へのキャリアパスを明確に示すことができるように、また一般的な補綴医療の水準を少しでも高められるようにすることを目的として活動を行ってきた。

平成 30 年度 6-3 月期と 2019 年 4-6 月期では、平成 30 年度第 2 回と第 3 回教育問題検討委員会の会議を公益社団法人日本補綴歯科学会会議室にて行った。最終的な必要案件についてはメール会議を行い、資料や意見収集が行われ、協議を終え、以下のプロダクトを完成させた。

- 1) 「公益社団法人日本補綴歯科学会 補綴歯科専門医のコンピテンシと到達目標」の作成について

教育問題検討委員会における会議とメール会議を重ね、アウトカム基盤型／コンピテンシを基盤とした補綴歯科学教育基準である、補綴歯科専門医が具備すべき資質 (5 つのコンピテンシと 18 のコンピテンシー) と、それを達成するための補綴歯科治療に求められる診療技能・知識・態度に関する具体的な項目一覧が作成され、パブリックコメントが取られた後、資料を完成させた。最終的には、完成したこれらの資料に対してパブリックコメントを求めることとなる。

また、公益社団法人日本補綴歯科学会第 128 回学術大会において、「補綴歯科専門医として身につけるべきコンピテンシ」と題した専門医研修会で、本委員会で作られた成果の一部が報告された (座長：澤瀬委員長、演者：古屋委員)。

- 2) 日本の歯学部における全部床義歯補綴教育に関する実態調査について

古屋委員を中心として、全部床義歯教育調査有志による予備調査報告である「日本の歯学部における全部床義歯補綴教育に関する実態調査」が行われた (調査終了)。今後は収集データの解析が行われ、教育問題検討委員会構成委員を含めた論文投稿を計画している。

- 3) 「JPS student clinical skills competition」におけるガイドラインと評価方法の策定

本学会学術委員会より、「JPS student clinical skills competition」における形成方法のガイドライン作成、支台歯形態のガイドライン作成、評価ガイドラインの作成を、「公益社団法人日本補綴歯科学会の保険診療における CAD/CAM 冠の診療指針」、ならびに、「クラウンブリッジ補綴学で使用している教科書」等を参考にして策定した。また、公益社団法人日本補綴歯科学会第 128 回学

術大会において、本委員会で得られた成果の一部がポスター発表された。

IX. 修練医・認定医・専門医制度委員会

1. 委員会構成

委員長：河相安彦

副委員長：村田比呂司

委員：魚島勝美，中本哲自，藤原 周，松山美和，
若林則幸，北川 昇，小泉寛恭

幹事：大久保昌和

2. 活動状況

1) 平成 30 年度第 4 回専門医制度委員会

平成 30 年 7 月 3 日（火）～ 4 日（水）メール会議

2) 平成 30 年度第 5 回専門医制度委員会

平成 30 年 7 月 18 日（水）～ 25 日（水）メール会議

3) 平成 30 年度第 6 回専門医制度委員会

平成 30 年 8 月 30 日（木）～ 9 月 1 日（土）メール会議

4) 平成 30 年度第 7 回（第 1 回対面）専門医制度委員会

平成 30 年 10 月 1 日（月）事務局会議室

5) 平成 30 年度第 8 回専門医制度委員会

平成 30 年 12 月 15 日（土）～ 21 日（金）メール会議

6) 平成 30 年度第 9 回（第 2 回対面）専門医制度委員会

平成 31 年 1 月 21 日（月）AP 品川 10 階 I ルーム

7) 平成 30 年度第 10 回専門医制度委員会

平成 31 年 1 月 28 日（月）～ 2 月 8 日（金）メール会議

8) 平成 30 年度第 11 回（第 3 回対面）専門医制度委員会

平成 31 年 3 月 13 日（水）事務局会議室

9) 令和元年度第 1 回修練医・認定医・専門医制度委員会

令和元年 5 月 21 日（火）～ 23 日（木）メール会議

3. 活動内容

1) 平成 30 年度専門医多肢選択式筆記試験採点及び 合否判定

平成 30 年 6 月 29 日 事務局会議室

2) 平成 30 年度 公益社団法人 日本補綴歯科学会 第 4 回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ'18」開催

大会長：渡邊文彦

会期：平成 30 年 11 月 18 日（日）

会場：日本歯科大学生命歯学部・富士見ホール

参加費（会員）3,000 円（非会員）5,000 円

大会テーマ：「インプラント治療における審美修復の Outcome」

シンポジウム I 審美インプラント治療におけるインプラント埋入条件

シンポジスト 丹野 努（丹野歯科医院）

シンポジスト 佐藤隆太（SR DENTAL CLINIC）

若手会員 古谷克典（東歯大）

若手会員 上田一彦（日歯大新潟）

シンポジウム II インプラント治療におけるティッシュマネージメントと審美修復

若手会員 浜田潤也（医歯大）

若手会員 佐藤洋平（鶴見大）

シンポジスト 上野大輔（上野歯科医院）

シンポジスト 中田光太郎（中田歯科クリニック）

3) 支部における専門医研修会の開催

(1) 九州支部 専門医研修会

日時：平成 30 年 8 月 26 日（日）

会場：熊本県歯科医師会館

テーマ：噛める義歯への多角的アプローチ

座長：古谷野 潔（九州大）

講師：大久保力廣（鶴見大）

山下秀一郎（東歯大）

(2) 中国・四国支部 専門医研修会

日時：平成 30 年 9 月 2 日（日）

会場：徳島大学 大塚講堂 小ホール（徳島大学蔵本キャンパス）

テーマ：補綴歯科治療の評価・検査をこう役立たせる

座長：窪木拓男（岡山大）

講師：宮地建夫（歯科診療室新宿 NS）

皆木省吾（岡山大） 安部倉仁（広島大）

(3) 東北・北海道支部 専門医研修会

日時：平成 30 年 10 月 13 日（土）

会場：北海道自治労会館

テーマ：補綴歯科治療における歯科医師と歯科技工士の連携

座長：菊池雅彦（東北大）

講師：後藤まりえ（北海道大）

田邊憲昌（岩手医大）

- (4) 東海支部 専門医研修会
 日時：平成 30 年 10 月 28 日（日）
 会場：愛知学院大学楠元キャンパス
 テーマ：歯冠補綴・有床義歯補綴歯科治療の術後管理を考える
 座長：中本哲自（松歯大）
 講師：蒔田真人（東海支部）
 竹内一夫（愛院大）
- (5) 東関東支部・西関東支部 専門医研修会
 日時：平成 30 年 11 月 10 日（土）
 会場：CHIBA SKY WINDOWS 東天紅（センチティタワー 23 階）
 テーマ：デジタル・CAD/CAM 補綴の UP TO DATE と展望
 座長：藤澤政紀（明海大）
 講師：木本克彦（神歯大）
 大久保力廣（鶴見大）
- (6) 関越支部 専門医研修会
 日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）
 会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
 テーマ：摂食嚥下リハビリテーションで補綴装置を活かす
 座長：小野高裕（新潟大）
 講師：古屋純一（医歯大）
- (7) 東京支部 専門医研修会
 日時：平成 30 年 11 月 25 日（日）
 会場：日本大学理工学部 1 号館 6 階 CST ホール
 テーマ：義歯治療へのデジタル技術活用の今、そして未来
 座長：高津匡樹（日本大）
 講師：新井嘉則（日本大）
 大久保力廣（鶴見大）
- (8) 関西支部専門医研修会
 日時：平成 31 年 3 月 3 日（日）
 会場：大阪大学中之島センター 10 階 佐治敬三メモリアルホール
 テーマ：審美歯冠補綴治療のカッティングエッジ
 座長：矢谷博文（大阪大）
 講師：六人部慶彦（関西支部）
 丸尾勝一郎（西関東支部） 鬼頭寛之
- 4) 第 128 回学術大会における専門医研修単位認定セミナーの開催
- (1) 臨床リレーセッション 2（専門医研修単位認定セミナー）令和元年 5 月 11 日（土）

テーマ：「部分床義歯の力学を再考する ～天然歯を守るインプラント支持の活かし方～」
 座長：古谷野 潔（九州大） 若林則幸（医歯大）
 講師：山下秀一郎（東歯大）

中居伸行（関西支部）

大久保力廣（鶴見大） 安部友佳（昭和大）

- (2) 専門医研修会（専門医研修単位認定セミナー）
 令和元年 5 月 12 日（日）

テーマ：「補綴歯科専門医として身につけるべきコンピテンス」

座長：河相安彦（日大松戸） 澤瀬 隆（長崎大）

講師：糸田昌隆（大歯大） 古屋純一（医歯大）

田口則宏（鹿児島大）

5) その他

- (1) 2019 年度（令和元年）認定医・専門医多肢選択式筆記試験の実施

日時：令和元年 5 月 10 日（金）

会場：札幌コンベンションセンター

- (2) 令和元年度認定医・専門医多肢選択式筆記試験採点及び合否判定

日時：令和元年 5 月 20 日

会場：事務局会議室

- (3) 公益社団法人日本補綴歯科学会第 5 回臨床研鑽会「プロソ'19」開催準備

X. 修練医・認定医・専門医認定委員会

1. 委員会構成

委員長：高橋 裕

副委員長：小川 匠

委員：上田康夫，黒川裕臣，木本 統，笛木賢治，井野 智，竹内一夫，石垣尚一，安陪 晋，細川隆司

幹 事：川口智弘

2. 活動状況

1) 専門医認定委員会の開催

- (1) 平成 30 年 10 月 30 日 平成 30 年度第 2 回専門医認定委員会

- (2) 平成 30 年 11 月 1 日～2 日 平成 30 年度専門医認定委員会（第 1 回メール会議）

- (3) 平成 31 年 4 月 22 日 平成 31 年度第 1 回修練医・認定医・専門医認定委員会

2) 専門医申請ケースプレゼンテーション：計 48 題

- (1) 第 127 回学術大会 8 題

- (2) 第 128 回学術大会 3 題

- (3) 東北・北海道支部学術大会 6 題
- (4) 東関東・西関東支部合同学術大会 3 題
- (5) 東京支部学術大会 8 題
- (6) 関越支部学術大会 5 題
- (7) 東海支部学術大会 5 題
- (8) 関西支部学術大会 5 題
- (9) 中国四国支部学術大会 4 題
- (10) 九州支部学術大会 1 題
- 3) 新規専門医, 指導医, 終身指導医, 認定研修機関の認定
新規専門医 43 名, 新規指導医 20 名, 新規終身指導医 8 名, 新規認定研修機関 (乙) 1 機関を認定した。
- 4) 専門医, 指導医, 認定研修機関の更新
専門医 142 名, 認定研修機関 (甲) 58 機関, 認定研修機関 (乙) 6 機関の更新を認定した。
- 5) 専門医症例報告査読
24 編 (平成 31 年 4 月 1 日現在) の症例報告論文を査読した。尚, ケースプレゼンテーションにおける 2 名の審査委員が査読を担当する査読者 2 名体制での査読方法を継続している。

XI. 社会連携委員会

1. 委員会構成

委員長: 山口泰彦

副委員長: 関根秀志

委員: 島田 淳, 坪田有史, 吉岡 文

幹事: 齋藤 彰

2. 活動状況

委員会はメール会議により 20 回行った。各支部の市民フォーラムおよび生涯学習公開セミナー、及び第 128 回学術大会における市民フォーラムのテーマ、座長、講師の選定に関する協議を行った。また、2019 年度生涯学習公開セミナーの共通テーマを“健康寿命を延ばすため「食力 (しょくりき)」を考える”と決定した。

市民フォーラム、生涯学習公開セミナー以外の活動としては、一般市民向けの補綴歯科解説用単行書「お口のトラブル解決します! 補綴歯科へようこそ」の企画・編集、ホームページ掲載用臨床術式教育ビデオコンテンツの作成 (「軟質裏装材による下顎総義歯の裏装」、「ファイバーポストを用いた支台築造」)、補綴リーフレット「補綴歯科ってなに?」の改訂版の作成を行った。

実施した生涯学習公開セミナー、市民フォーラムは以下のとおりである。

1) 生涯学習公開セミナー

東北・北海道支部

- (1) 日時: 平成 30 年 10 月 14 (日)
- (2) 会場: 一般財団法人 北海道自治労会館
- (3) テーマ: 補綴歯科関係保険収載医療技術の解説
- (4) 座長: 越智守生 (北医療大)
- (5) 講師: 山口泰彦 (北海道大)

関越支部

- (1) 日時: 平成 30 年 8 月 5 日 (日)
- (2) 会場: ラマダホテル新潟
- (3) テーマ: 補綴歯科関係新規保険収載医療技術の解説
- (4) 座長: 魚島勝美 (新潟大)
- (5) 講師: 佐藤裕二 (昭和大)
- (6) テーマ: 口腔機能低下症の臨床
- (7) 座長: 加来 賢 (新潟大)
- (8) 講師: 堀 一浩 (新潟大)

東関東支部

- (1) 日時: 平成 30 年 11 月 10 日 (土)
- (2) 会場: CHIBA SKY WINDOWS 東天紅 (センシティタワー 23 階)
- (3) テーマ: 補綴歯科関係新規保険収載技術の解説
- (4) 座長: 大川周治 (明海大)
- (5) 講師: 鈴木哲也 (医歯大)

東京支部

- (1) 日時: 平成 30 年 11 月 25 日 (日)
- (2) 会場: 日本大学理工学部 1 号館 6 階 CST ホール
- (3) テーマ: 補綴歯科関係新規保険収載医療技術の解説
- (4) 座長: 大谷賢二 (日本大)
- (5) 講師: 志賀 博 (日歯大)

西関東支部

- (1) 日時: 平成 30 年 11 月 10 日 (土)
- (2) 会場: CHIBA SKY WINDOWS 東天紅 (センシティタワー 23 階)
- (3) テーマ: 補綴歯科関係新規保険収載技術の解説
- (4) 座長: 大川周治 (明海大)
- (5) 講師: 鈴木哲也 (医歯大)

東海支部

- (1) 日時: 平成 30 年 10 月 28 (日)
- (2) 会場: 愛知学院大学楠元キャンパス
- (3) テーマ: 補綴歯科関係新規保険収載医療技術

の解説

- (4) 座長：都尾元宣（朝日大）
- (5) 講師：五味治徳（日歯大）

関西支部

- (1) 日時：平成 30 年 12 月 1 日（土）
- (2) 会場：金沢市アートホール
- (3) テーマ：補綴歯科関係新規保険収載医療技術の解説
- (4) 座長：長島 正（大阪大）
- (5) 講師：田中昌博（大歯大）
- (6) 日時：平成 30 年 12 月 2 日（日）
- (7) 会場：金沢市アートホール
- (8) テーマ：CAD/CAM 冠の基礎と臨床
- (9) 座長：中村隆志（大阪大）
- (10) 講師：高橋英和（医歯大）
- 講師：末瀬一彦（大歯大）
- 講師：峯 篤史（大阪大）

中国・四国支部

- (1) 日時：平成 30 年 9 月 1 日（土）
- (2) 会場：徳島大学 大塚講堂 小ホール（徳島大学蔵本キャンパス）
- (3) テーマ：補綴歯科関係新規保険収載医療技術の解説
- (4) 座長：松香芳三（徳島大）
- (5) 講師：田中昌博（大歯大）
- (6) 日時：平成 30 年 9 月 2 日（日）
- (7) 会場：徳島大学 大塚講堂 小ホール（徳島大学蔵本キャンパス）
- (8) テーマ：補綴歯科の考え方は地域包括ケアシステムの中でどう生きるか
- (9) 座長：津賀一弘（広島大）
- (10) 講師：深井穂博（深井保健科学研究所）
- 講師：服部佳功（東北大）

九州支部

- (1) 日時：平成 30 年 8 月 26 日（日）
- (2) 会場：熊本県歯科医師会館
- (3) テーマ：補綴歯科関係新規保険収載技術の解説
- (4) 座長：村田比呂司（長崎大）
- (5) 講師：南 弘之（鹿児島大）

2) 市民フォーラムの開催

東北・北海道支部

- (1) 日程：平成 30 年 10 月 13 日（土）
- (2) 会場：一般財団法人 北海道自治労会館
- (3) テーマ：お口の機能を保って健康長寿 - お口の機能を検査していますか？ -

- (4) 座長：服部佳功（東北大）
- (5) 講師：會田英紀（北医療大）

関越支部

- (1) 日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）
- (2) 会場：新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ
- (3) テーマ：スポーツでは噛み合わせがこんなに大切
- (4) 座長：水橋 史（日歯大）
- (5) 講師：石上恵一（東歯大）
- 講師：大井道夫（日本文理高等学校）

東関東支部

- (1) 日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）
- (2) 会場：京成ホテルイルミラマーレ
- (3) タイトル：歯を喪失 その時あなたの選択は？
- (4) 座長：井野 智（神歯大）
- (5) 講師：岡本和彦（明海大）

東京支部

- (1) 日時：平成 30 年 10 月 6 日（土）
- (2) 会場：日本大学歯学部本館 創設百周年記念講堂
- (3) テーマ：睡眠時無呼吸症への歯科的対応について
- (4) 座長：飯沼利光（日本大）
- (5) 講師：浦田健太郎（日本大）

西関東支部

- (1) 日時：平成 30 年 10 月 20 日（土）
- (2) 会場：神奈川歯科大学附属横浜研修センター
- (3) テーマ：摂食嚥下における舌圧の重要性
- (4) 座長：井野 智（神歯大）
- (5) 講師：飯田貴俊（神歯大）

東海支部

- (1) 日程：平成 30 年 10 月 27 日（土）
- (2) 会場：愛知学院大学楠元学舎
- (3) テーマ：在宅医療における口腔健康管理
- (4) 座長：服部正巳（愛院大）
- (5) 講師：杉本太造（愛院大）
- 講師：富田健嗣（愛知県歯科医師会）

関西支部

- (1) 日時：平成 30 年 12 月 1 日（土）
- (2) 会場：金沢市アートホール
- (3) テーマ：食べることは元気と長生きの素！だから・・・義歯が大切！
- (4) 座長：杉 政和（石川県歯科医師会）
- (5) 講師：水口俊介（医歯大）

中国・四国支部

- (1) 日時：平成 30 年 9 月 2 日（日）
- (2) 会場：徳島大学 大塚講堂小ホール
- (3) テーマ：学びましょう お口の健康について
ー補綴歯科とオーラルリハビリテーションー
- (4) 座長：渡邊 恵（徳島大）
- (5) 講師：佐藤修斎（中国・四国支部）

九州支部

- (1) 日時：平成 30 年 8 月 26 日（日）
- (2) 会場：熊本県歯科医師会館
- (3) テーマ：義歯と健康
- (4) 座長：嶺崎良人（鹿児島大）
- (5) 講師：原田佳枝（鹿児島大）

日本補綴歯科学会第 128 回学術大会

- (1) 日時：令和元年 5 月 11 日（土）
- (2) 会場：札幌コンベンションセンター
- (3) テーマ：口から食べることの重要性
- (4) 座長：津賀一弘（広島大）
- (5) 講師：藤本篤士（札幌西門山病院）
山根由起子（旭医大）

XII. 国際渉外委員会

1. 委員会構成

委員長：細川隆司

副委員長：小見山 道

委員：有馬太郎，池邊一典，隅田由香，松香芳三，
渡邊郁哉

幹事：近藤 祐介

2. 活動状況

1) 各海外学会との交流

- (1) Asian Academy of Prosthodontics (AAP)
 - a. 11th Biennial Congress of AAP (Kuala Lumpur, Malaysia) へ招待講演者の派遣（下記 2）-(1) 参照）
 - b. Executive meeting (Kuala Lumpur, Malaysia) へ参加
 - c. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
- (2) Chinese prosthodontic Society (CPS), Korean Academy of Prosthodontics (KAP)
 - a. The 6th Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAP (Seoul, Korea) へ招待講演者の派遣（下記 2）-(1) 参照）
 - b. Executive meeting (Seoul, Korea) へ参加
 - c. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知

催の周知

- d. 第 127 回学術大会日本補綴歯科学会学術大会（岡山）における日中韓国際セッションの開催（下記 4）参照）
 - (3) Chinese prosthodontic Society (CPS)
 - a. 13th National Conference of CPS からの理事長に対する講演依頼への対応（国際渉外委員長が代行）
 - (4) Indian Prosthodontic Society (IPS)
 - a. 46th IPS National Conference (Mangalore, India) へ招待講演者の派遣（下記 2）-(1) 参照）
 - b. 留学生受け入れ
 - (5) Indonesia Prosthodontic Society (IPROSI)
 - a. 招待講演者依頼への対応
 - b. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
 - (6) Pacific Coast Society for Prosthodontics (PCSP)
 - a. 本会学術大会へ招待講演者の招聘（下記 2）-(2) 参照）
 - b. 84th PCSP Annual meeting (Napa, USA) へ招待講演者の派遣（下記 2）-(1) 参照）
 - (7) American Prosthodontic Society (APS)
 - a. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
 - (8) Academy of Prosthodontics (AP)
 - a. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
 - (9) International College of Prosthodontists (ICP)
 - a. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
 - (10) Greater New York Academy of Prosthodontics (GNYAP)
 - a. 招待講演者依頼への対応（2020/12 開催）
- 2) 海外派遣招待講演者の選定および海外招待講演者の招聘
- (1) 海外派遣招待講演者の選定

The 6th Biennial Joint Congress of JPS-CPS-KAP: Dr. Shinichiro Kuroshima, Dr. Kazuhiro Tsuga, Dr. Hiroshi Ikeda, Dr. Noriyuki Hoshi

11th Biennial Congress of AAP: Dr. Yasunori Ayukawa

46th IPS National Conference 2018: Dr. Ryuji Hosokawa, Dr. Yoshizo Matsuka

84th Annual Meeting of PCSP: Dr. Daisuke Sato
 - (2) 海外招待講演者の招聘

日本補綴歯科学会第127回学術大会(PCSP国際シンポジウム)へDr. David Guichet, Dr. Jacinthe Paquetteを招聘

日本補綴歯科学会第128回学術大会(海外特別講演)へDr. Charles Goodacreを招聘

3) 委員会セミナーの開催

日本補綴歯科学会第127回学術大会にて、『海外留学支援セミナー—どうすれば海外の大学、研究機関で仕事ができるか?—』を開催

4) シンポジウムの開催

日本補綴歯科学会第127回学術大会にて、『日中韓国際セッション—アジアにおける補綴治療の最前線—』を開催

XIII. 規程検討委員会

1. 委員会構成

委員長：武部 純

副委員長：佐藤 亨

委員：小峰 太, 新谷明一, 高山滋子

幹事：安藤彰浩

2. 活動状況

1) 委員会開催

各委員会等からの発議を受けた規程等改正案および制定案について、条文としての文言の整合性確認と改正を行うために、委員会をメール上で5回開催した。理事会等により審議・承認の得られた規程等を取り纏め、学会HP上の規程集を3回更新した。

- (1) 第1回(メール会議):平成30年7月1日(日)～平成30年7月13日(金)
- (2) 第2回(メール会議):平成30年10月2日(火)～平成30年10月5日(金)
- (3) 第3回(メール会議):平成31年1月7日(月)～平成31年2月5日(火)
- (4) 第4回(メール会議):平成31年2月21日(木)～平成31年3月1日(金)
- (5) 第5回(メール会議):平成31年3月20日(水)～平成31年3月29日(金)

2) 制定した規程

- (1) 修練医制度規則(平成30年8月3日制定)
- (2) 修練医制度施行細則(平成30年8月3日制定)
- (3) 認定医制度規則(平成30年8月3日制定)
- (4) 認定医制度施行細則(平成30年8月3日制定)
- (5) 個人情報保護に関する基本方針(令和元年5月31日制定)

(6) 個人情報保護に関する規程(令和元年5月31日制定)

(7) 個人情報保護に関する運用細則(令和元年5月31日制定)

3) 改正した規程, 規則, 細則, および申し合わせ

- (1) 48 学術大会実施要項(平成30年8月3日改正)
- (2) 32 倫理審査委員会規程(平成30年10月26日改正)
- (3) 32-2 倫理審査委員会規則(平成30年10月26日改正)
- (4) 11 修練医・認定医・専門医制度整備基金規程(平成31年3月20日改正)
- (5) 22 修練医・認定医・専門医制度委員会規程(平成31年3月20日改正)
- (6) 22-2 支部専門医研修会開催に関する申し合わせ(平成31年3月20日改正)
- (7) 23 修練医・認定医・専門医認定委員会規程(平成31年3月20日改正)
- (8) 38 事務処理規程(平成31年3月20日改正)
- (9) 46 専門医制度規則(平成31年3月20日改正)
- (10) 47 専門医制度施行細則(平成31年3月20日改正)
- (11) 47-2 広告開示発足時における専門医制度規則の措置に関する申し合わせ(平成31年3月20日改正)
- (12) 49 補綴歯科臨床研鑽会プロソ実施要項(平成31年3月20日改正)
- (13) 50 投稿規程(平成31年3月20日改正)
- (14) 修練医制度規則(平成31年3月20日改正)
- (15) 修練医制度施行細則(平成31年3月20日改正)
- (16) 認定医制度規則(平成31年3月20日改正)
- (17) 認定医制度施行細則(平成31年3月20日改正)
- (18) 18 広報委員会規程(令和元年5月10日改正)

4) 廃止した規程

該当なし

5) 改正した支部規則

該当なし

6) 今期の主たる改正内容

- (1) 48 学術大会実施要項(平成30年8月3日改正)
第2条 第2項 大会長は、理事長が推薦し、理事会に諮って委嘱する。
- (2) 32 倫理審査委員会規程, 32-2 倫理審査委員会規則(平成30年10月26日改正)
様式1-11は、学会HPへ掲載するために規程

集から削除した。

- (3) 11 修練医・認定医・専門医制度整備基金規程
(平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医・専門医制度整備基金規程へ名称変更。それに伴う文言の一部改正。
- (4) 22 修練医・認定医・専門医制度委員会規程
(平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医・専門医制度委員会規程へ名称変更。それに伴う文言の一部改正。
- (5) 22-2 支部専門医研修会開催に関する申し合わせ
(平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医制度新設に伴う文言の一部改正。
- (6) 23 修練医・認定医・専門医認定委員会規程
(平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医・専門医認定委員会規程へ名称変更。それに伴う文言の一部改正。
- (7) 38 事務処理規程 (平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医制度新設に伴う文言の一部改正。
- (8) 46 専門医制度規則 (平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医制度新設に伴う文言の一部改正。
- (9) 47 専門医制度施行細則 (平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医制度新設に伴う文言の一部改正。
- (10) 47-2 広告開示発足時における専門医制度規則
の措置に関する申し合わせ (平成 31 年 3 月 20
日改正)
修練医・認定医制度新設に伴う文言の一部改正。
- (11) 49 補綴歯科臨床研鑽会プロソ実施要項
(平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医制度新設に伴う文言の一部改正。
- (12) 50 投稿規程 (平成 31 年 3 月 20 日改正)
修練医・認定医制度新設に伴う文言の一部改正。

XIV. 用語検討委員会

1. 委員会構成

委員長：西村正宏

副委員長：岡崎定司

委員：木本克彦，秋葉陽介，木本 統，古地美佳
幹 事：村上 格

2. 活動状況

委員会を 4 回開催し，以下のことを行った。

- 1) 歯科補綴学専門用語集第 5 版への改定作業
 - (1) 新規収載用語について執筆内容および執筆者への照会事項について検討した。

- (2) 第 4 版収載用語について査読結果および査読者への照会事項について検討した。

- (3) 上記 (1)，(2) をまとめ，代議員へパブリックコメントを実施し，内容を反映させた。

- (4) 医歯薬出版へゲラ作成を依頼した。

- (5) ゲラ刷りについて委員長会にて承認を得た後，校正作業を行い，2019 年 3 月 25 日に第 1 刷の発刊となった。

- (6) 第 128 回学術大会にて委員会セミナーを企画し，「用語集改定のポイント」として会員へ改定内容を周知した。

- 2) 日本歯科医学会『日本歯科医学会学術用語集第 2 版』改定作業

日本歯科医学会から分科会への依頼に基づいて，日本歯科医学会学術用語集第 2 版のゲラ校正の確認作業を行い，医歯薬出版へ回答を行った。

- 3) 歯科補綴学専門用語集第 5 版の要修正点等をピックアップする方法について
常に会員からの意見を受け入れられるように補綴学会の HP を活用する素案を作成した。

- 4) 用語集の電子化について，下記 2 点より検討する素案を作成した。

- (1) 歯科補綴学専門用語集の電子版に関する契約について医歯薬出版と協議する。

- (2) 一般を対象にした脳科学用語辞典（日本神経科学学会作成）のようなものを補綴学会の HP に掲載する。歯科補綴学専門用語集とは異なるものとし，用語検討委員会とは別事業として立ち上げ作業する必要がある。既に発刊している「歯科補綴学専門用語集」とダブルスタンダードとしないようにする。本素案を次期委員会へ申し送る。

XV. 研究企画推進委員会

1. 委員会構成

委員長：窪木拓男

副委員長：玉置勝司

委員：大野 彩，小川 徹，菊谷 武，菅沼岳史，
藤澤政紀，竜 正大

幹 事：前川賢治

2. 活動状況

- 1) 委員会開催

- (1) 平成 30 年度第 2 回：平成 30 年 10 月 29 日
- (2) 平成 30 年度第 3 回：平成 30 年 12 月 17 日

- (3) 平成 30 年度第 4 回：平成 31 年 1 月 21 日
- (4) 平成 31 年度第 1 回：平成 31 年 4 月 15 日
- (5) その他適宜メール会議を開催
- 2) 2040 年への歯科イノベーションロードマップを
学術委員会と作成
- 3) 平成 30 年度群馬県草津町口腔機能調査（地域在住
高齢者包括検診「草津にっこり検診」）に参加
 - (1) 実施日：平成 30 年 7 月 2 日（月）～7 月 6 日（金）
 - (2) 参加者：窪木拓男，玉置勝司，竜 正大，
前川賢治（以上委員会），藤本規仁（昭和大）
- 4) 令和元年度群馬県草津町口腔機能調査（地域在住
高齢者包括検診「草津にっこり検診」）への参加
準備
 - (1) 実施日：令和元年 7 月 1 日（月）～7 月 5 日（金）
 - (2) 参加予定者：窪木拓男，玉置勝司，小川 徹，
藤澤政紀，竜 正大，前川賢治
- 5) 補綴治療の難易度を測定する症型分類の妥当性検
証論文（オリジナルは JPR で発表）のセカンダ
リーパブリケーションを日本補綴歯科学会雑誌に
投稿，そのアペンディックスとして，症型分類プ
ロトコルのアップデート版とその使用説明書を投
稿し，受理された。
- 6) 草津研究論文の作成と投稿準備

東京都健康長寿医療センターと共同で解析をす
すめてきた口腔内の状況と生命予後，自立喪失，
低体重発生との関係に関する論文 3 編を執筆し，
投稿準備を進めた。
- 7) 日本歯科医学会連合医療問題関連事業「新しい
医療機器および技術の導入に関する資料収集お
よび調査研究」の採択を受けて，「ブリッジの欠
損部の審美性を高めるための Root submergence
technique の有効性に関するシステマティックレ
ビュー」を実施し，論文にまとめた。7 月に歯科
医学会連合に投稿予定。
- 8) 「健康な食事・食環境」コンソーシアムへの参加

厚生労働省と栄養改善学会が中心になって設立
した「健康な食事・食環境」コンソーシアムに，
本学会が歯科で初めて参加申請を行い承認され
た。本件は平成 30 年 3 月 8 日に実施したプレス
リリースで発表，多方面で報道された。
- 9) 症型分類の妥当性を検討した際の多施設臨床研究
データベースを二次利用して実施する「補綴治
療の効果と摂取可能食品の関係に関する研究」の
データ解析を実施した。

- 10) 令和元年度公益社団法人日本補綴歯科学会定時総
会講演会「誰もがより長く元気に活躍できる社会
を目指して～健康寿命の延伸に向けて日本補綴歯
科学会「健康な食事・食環境」コンソーシアム
に参加します～」の開催準備

令和元年 6 月 16 日定時総会時に開催予定の標
記講演会の開催準備を行った。

XVI. 特命委員会 1 活動報告

1. 委員会構成

委員長：津賀一弘

副委員長：石垣尚一

委員：飯田 崇，渡邊 恵

幹 事：吉川峰加

2. 活動状況

補綴歯科専門医取得へのキャリアパスの構築に関す
る「新設認定医等制度（案）」について草案の起案を
作成した。その後，2 度の委員会や 8 回のメール会議
を通じて，新設の修練医ならびに認定医の認定条件や，
規程検討委員会が作成された規定案や専門医制度規則
の経過措置に関する内容の確認を行った。修練医・認
定医に関する規程・規則・申請様式の整備を実施し，ホー
ムページ等掲載用資料の確認やプレリリース資料の作
成を行った。

また，日本補綴歯科学会における認定歯科技工士（仮
称）認定歯科衛生士（仮称）制度について協議した。

本学会における男女共同参画についても検討を行
い，学会ホームページ内「国内外で活躍する女性補綴
学会員」について推薦を行った。

XVII. 特命委員会 2 活動報告

1. 委員会構成

委員長：服部佳功

委員：池邊一典，松山美和，堀 一浩，横山正起

幹 事：山口哲史

2. 活動状況

平成 29 年 7 月以降，メール会議にて事業計画や内
容を審議し，最優先で実施すべき事業として，以下の
2 項に取り組んだ。

- 1) 口腔栄養関連サービスに関わるスローガンの募集
および決定

本学会の会員が補綴治療を通じて高齢者の栄養

管理に積極的に関与することを学会内外に宣言し、学会員にその自覚を促すとともに、栄養の充足における補綴治療の重要性を広く国民に認識いただくべく、本学会会員を対象として「補綴治療に基づく栄養管理」の普及促進に向けた「スローガン」を公募した。

スローガン公募要項、ならびにスローガン公募ポスターを、学会ウェブサイトならびにJPSメールマガジンを通じて会員に発信し、4月26日から5月31日の期間に募集を行った。

応募総数は27であり、これらより5を選考する第1次選考を、委員会にて実施した。本学術大会会期中に、会参加者の投票による第2次選考を実施し、最終日(6月17日)の閉会式に、選考結果の発表と、提案者の表彰を行う。

2) 歯科衛生士、栄養士との連携に基づく栄養充足への取り組み

地域包括ケアシステムにおいて、補綴歯科医や歯科衛生士が栄養士と連携し、患者の栄養状態の改善や、それを介した健康寿命の延伸に貢献するには、制度面のみならず多くの課題が残されている。本委員会は、補綴歯科医の栄養や食品、調理等に関する知識の不足や、栄養士側の歯科関連の知識の不十分が相互の意思疎通を困難にしている現状に鑑み、補綴歯科医をはじめとする歯科医療職種と(管理)栄養士の「共通言語」の相互理解を促す書籍の出版を企画した。

作成した目次案に基づいて医歯薬出版(株)に出版企画を提案するとともに、日本咀嚼学会に執筆者の推薦を依頼した。

委員会では、目次案を継続して検討中である。

XVIII. JPR 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：松村英雄

副委員長：皆木省吾

委員：熱田 生，鬼原英道，二川浩樹

幹事：小峰 太

2. 活動状況

1) 会議開催状況

平成30年度

第2回：2018年8月28日(水) 14:00～15:00

第3回：2018年11月26日(月) 13:00～

13:40

第4回：2019年1月5日～1月9日 電磁的方法(メール会議)

第5回：2019年2月27日(水) 14:00～14:25

2019年度

第1回：2019年5月30日(木) 16:30～17:35

- 2) 投稿原稿に対する可及的早期の採否判定
- 3) 受理された論文の早期公開と迅速な出版
- 4) レイアウト変更等による掲載論文数の増加
- 5) JPR誌62巻3, 4号, 63巻1号の発刊および63巻2, 3号の掲載論文の選定
- 6) 投稿数と審査状況
【2018年】投稿数：524編(Accepted：81編, Rejected：397編, Rejection rate：83%)
【2019年5月23日現在】投稿数：235編(Accepted：35編, Rejected：186編, Rejection rate：84%)
- 7) JPR Best Paper Award 該当論文についての資料収集と所掌委員会への推薦
- 8) エルセビア・ジャパン(株) Elsevier Japan KKへの業務委託
(1) JPRの冊子および電子版の編集、発行、配送、広報等
(2) JPRの運営体制へのサポート
- 9) クラリベイト・アナリティクス Clarivate Analytics (Japan) Co., Ltd. への業務委託
(1) JPR プロモーションメールの配信
(2) Web of Science (WoS) における JPR 掲載論文の分析と編集に対する助言
- 10) (株) 杏林舎への業務委託：JPR 掲載論文の J-STAGE への掲載

XIX. 倫理審査委員会

1. 委員会構成

委員長：鱒見進一

副委員長：大川周治

委員：若林則幸，篠原光代，柴崎栄一，正岡直樹

幹事：榎原絵理

2. 活動状況

平成30年度6-3月期

- 1) 倫理審査委員会規程・規則，および各種書類，審査フローについて委員会案を作成し，学会 HP に

アップした。

- 2) 2019 年 1 月に 1 件の申請書類が提出され、数回の審議および書類修正の結果、承認された。
2019 年度 4-6 月期
特になし

XX. 利益相反委員会

1. 委員会構成

委員長：小宮山彌太郎

副委員長：小出 馨

委員：志賀 博，馬場一美，柴崎栄一

幹事：横山正起

2. 活動状況

平成 30 年度 6-3 月期および 2019 年度 4-6 月期に開催された理事会，委員長会において，利益相反に関する事項に関し，必要に応じて各委員にメールにて連絡を行った。

また，本委員会は利益相反状態にある本学会会員（主に開業医，勤務医）からの質問，要望への対応を行い，当該者からの申し出があった時点でその旨を事務局あるいは総務から通知を受けて委員会を開催する。平成 30 年度 6-3 月期および 2019 年度 4-6 月期，現在までに申請はない。

XXI. 優秀論文賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長：大川周治

委員：志賀 博，大久保力廣，松村英雄，
馬場一美，古谷野 潔

2. 活動状況

平成 30 年度優秀論文賞受賞候補者の選考について

平成 31 年 3 月 1 日に委員会を開催した。規程に基づき検討した結果，学会論文賞候補者 1 件 2 名，奨励論文賞候補者 5 名，JPR Best Paper Award Original Article 部門候補者 1 件 2 名をそれぞれ選考して理事長に推薦し，平成 30 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 2 回定時理事会（平成 31 年 3 月 20 日）において承認された。

【学会論文賞】

- 1) 三浦賞子（明海大学）【筆頭演者】，
江草 宏（東北大学）【連絡責任著者，研究総括者】
「Clinical evaluation of zirconia-based all-

ceramic single crowns: an up to 12-year retrospective cohort study. Clinical Oral Investigations 2018 ; 22 : 697-706」

【奨励論文賞】

- 1) 小川貴大（日大松戸）

「Differences in pain thresholds elicited by intraoral electrical stimuli between individuals with and without diabetes mellitus. Journal of Oral Rehabilitation 2018 ; 45 : 235-239」

- 2) 渡會侑子（日歯大新潟）

「Highly producible method for determination of occlusal vertical dimension: relationship between measurement of lip contact position with the closed mouth and area of upper prolabium. Journal of Prosthodontic Research 2018 ; 62 : 485-489」

- 3) 上村明日香（大阪大）

「Adhesion procedure for CAD/CAM resin crown bonding: Reduction of bond strengths due to artificial saliva contamination. Journal of Prosthodontic Research 2018 ; 62 : 177-183」

- 4) 小宮山貴将（東北大）

「Relationship between status of dentition and incident functional disability in an elderly Japanese population: prospective cohort study of the Tsurugaya project. Journal of Prosthodontic Research 2018 ; 62 : 443-448」

- 5) 井田貴子（新潟大）

「Extracellular matrix with defective collagen cross-linking affects the differentiation of bone cells. PLOS ONE 2018 ; 13(9) : e0204306」

【JPR Best Paper Award Review Article 部門】

該当なし

【JPR Best Paper Award Original Article 部門】

- 1) Hatem El-Damanny (University of Sharjah and Suez Canal University) 【筆頭著者，連絡責任著者】

Maria Gaintantzopoulou (National and Kapodistrian University of Athens) 【研究統括者】
「Self-etching ceramic primer versus hydrofluoric acid etching: Etching efficacy and bonding performance. Journal of Prosthodontic Research 2018 ; 62 : 75-83」

XXII. 学会賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長：志賀 博

委員：大川周治，水口俊介，馬場一美，
大久保力廣，佐々木啓一

2. 活動状況

平成 30 年度日本補綴歯科学会学会賞推薦委員会を

平成 31 年 3 月 1 日に開催し、資料をもとに審議の結果、平成 30 年度日本補綴歯科学会特別功労賞には、佐藤博信名誉会員、谷口 尚名誉会員の 2 名と、株式会社松風、株式会社ジーシー、株式会社モリタの 3 社が、また、平成 30 年度日本補綴歯科学会学術賞には、佐々木啓一会員がそれぞれ候補者として全会一致で選出され、所定の書類を添えて、理事長に推薦し、平成 30 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 2 回定時理事会（平成 31 年 3 月 20 日）において承認された。

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和元年度第2回臨時理事会 議事録

I. 開催日時：令和元年6月16日（日）
15：25～15：54

II. 会場：東京医科歯科大学 歯科棟南4階 演習室
〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45
電話 03-5803-5419

III. 理事現在数、定足数、理事出席数とその氏名および欠席した理事の氏名（敬称略）

理事現在数 20名
定足数 11名
理事出席数 18名
出席した理事の氏名

大川周治、馬場一美、志賀 博、横山敦郎（議事録作成者）、水口俊介、細川隆司、窪木拓男、山口泰彦、佐藤裕二、山森徹雄、藤澤政紀、飯沼利光、河相安彦、河野文昭、津賀一弘、武部 純、岡崎定司、村田比呂司

欠席した理事の氏名

大久保力廣、服部佳功

IV. 監事現在数、出席した監事の氏名および欠席した監事の氏名（敬称略）

監事現在数 2名
出席した監事の氏名 佐藤 亨
欠席した監事の氏名 小出 馨

V. 陪席者氏名

倫理審査委員会委員長	中本哲自
利益相反委員会委員長	都尾元宣
研究企画推進委員会委員長代理	山口哲史
理事長幹事	岡本和彦、飯田 崇
総務幹事	坂口 究
事務局	石川 義孝、広野 忍

VI. 議長の氏名

大川周治および横山敦郎

VII. 議題

第1号議案 理事長選定の件
第2号議案 副理事長選定の件
第3号議案 常務理事選定の件
第4号議案 委員長、委員、幹事の委嘱の件

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻、横山理事が開会を宣し、本理事会は定款第44条の規定に定める定足数を満たしており、適法に

成立した旨を告げ、議題の審議に入った。

2) 議長の選出

大川理事より、理事長未選定のため、出席理事の互選により議長を選出する必要があるため、本日の第1号議案の審議までの議長を選出したい旨が述べられた。これを受けて、各理事による互選の結果、横山理事が本日の第1号議案の審議までの議長となること、出席理事全員一致にて承認された。

3) 議案の審議状況および議決結果等

第1号議案 理事長選定の件

議長から定款第31条第2項および役員選任規程第2条に基づき、大川理事を理事長として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席理事全員一致にて承認した。続いて、横山理事より、以後の議事については、定款第43条第1項の規定により、理事長が議長となることが説明され、各理事から異議が述べられなかったため、以後は大川理事長が議長を務めた。

第2号議案 副理事長選定の件

議長から定款第31条および役員選任規程第3条に基づき、馬場理事、志賀理事を副理事長として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席理事全員一致にて承認した。

第3号議案 常務理事選定の件

議長から定款第31条および役員選任規程第4条に基づき、横山理事、水口理事を常務理事として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席理事全員一致にて承認した。

第4号議案 委員長、委員、幹事の委嘱の件

議長から役員等の会務担当規程第3、4および6条に基づき、別紙資料の通り、委員長、委員、幹事を委嘱したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席者理事全員一致で承認した。

IX. 報告事項

1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について

代表理事および業務執行理事から、特に報告事項はない旨の報告がなされた。

2) その他

大川理事長から、別紙資料を基に、今期の活動目標（特に、今期の重点課題としてお願いしたいこと）についての説明ならびに各理事および委員長への依頼がなされた。さらに、別紙資料を基に、令和元年度会議開催予定の提案がなされ、了承された。

横山常務理事から、会務に使用するメーリングリス

ト、各委員会を開催する場合の注意事項、第3回委員長会までに各委員会の活動方針を策定戴きたい旨などについての説明がなされた。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので、議長は15時54分閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事および監事が記名押印する。

令和元年 6 月 16 日					
公益社団法人日本補綴歯科学会					
議長	代表理事（理事長）	大川	周	治	㊟
副理事長		馬場	一	美	㊟
副理事長		志賀		博	㊟
常務理事		横山	敦	郎	㊟
常務理事		水口	俊	介	㊟
理事		細川	隆	司	㊟
理事		窪木	拓	男	㊟
理事		山口	泰	彦	㊟
理事		佐藤	裕	二	㊟
理事		山森	徹	雄	㊟
理事		藤澤	政	紀	㊟
理事		飯沼	利	光	㊟
理事		河相	安	彦	㊟
理事		河野	文	昭	㊟
理事		津賀	一	弘	㊟
理事		武部		純	㊟
理事		岡崎	定	司	㊟
理事		村田	比呂	司	㊟
監事		佐藤		亨	㊟

公益社団法人 日本補綴歯科学会役員 役員・委員会委員一覧
(任期：令和元年6月16日～令和3年6月に開催予定の定時総会の終結の時)

理事長：大川周治		理事：研究企画推進	服部佳功
副理事長：馬場一美（次期理事長候補者）		理事：特命	村田比呂司
副理事長：	志賀 博	監事：佐藤 亨	
常務理事：総務	横山敦郎	監事：小出 馨	
常務理事：学術	水口俊介	支部長：菊池雅彦（東北・北海道）	
理事：JPR 編集	細川隆司	渡邊文彦（関越）	
理事：編集	窪木拓男	小見山道（東関東）	
理事：財務	山口泰彦	三浦宏之（東京）	
理事：広報	佐藤裕二	鈴木恭典（西関東）	
理事：医療問題検討	山森徹雄	石神 元（東海）	
理事：診療ガイドライン	藤澤政紀	佐古好正（関西）	
理事：教育問題検討	飯沼利光	津賀一弘（中国・四国）	
理事：修練医・認定医・専門医制度	河相安彦	古谷野潔（九州）	
理事：修練医・認定医・専門医認定	大久保力廣	理事長幹事：岡本和彦	
理事：社会連携	河野文昭	理事長幹事：横山正起	
理事：国際渉外	津賀一弘	理事長幹事：飯田 崇	
理事：規程検討	武部 純	総務幹事：坂口 究	
理事：用語検討	岡崎定司	支部長会幹事：高場雅之	

委員会委員

学術委員会

委員長 水口俊介 幹事 猪越正直

副委員長 江草 宏

委員 疋田一洋，馬場俊輔，鮎川保則，山下秀一郎，谷田部 優，渡邊 恵，菅沼岳史，正木千尋

JPR 編集委員会

委員長 細川隆司 幹事 向坊太郎

副委員長 皆木省吾

委員 池邊一典，加来 賢，笛木賢治，柴田 陽，多田紗弥夏，新谷明一

編集委員会

委員長 窪木拓男 幹事 前川賢治

副委員長 黒岩昭弘

委員 二川浩樹，金澤 学，鈴木秀典，福西美弥

財務委員会

委員長 山口泰彦 幹事 前田正名

副委員長 小見山 道

委員 坂口 究

広報委員会

委員長 佐藤裕二 幹事 下平 修
 副委員長 長島 正
 委員 近藤尚知, 堀 一浩, 岡本和彦, 鈴木恭典, 新村弘子, 田地 豪, 松浦尚志, 飯島裕之

医療問題検討委員会

委員長 山森徹雄 幹事 松本知生
 副委員長 田上直美
 委員 猪子芳美, 竹内義真, 上田貴之, 田邊憲昌, 西山雄一郎, 玉置勝司

診療ガイドライン委員会

委員長 藤澤政紀 幹事 佐藤雅介
 副委員長 西村正宏
 委員 中島純子, 水口 一, 峯 篤史, 鬼原英道, 丸尾勝一郎

教育問題検討委員会

委員長 飯沼利光 幹事 池田貴之
 副委員長 菊池雅彦
 委員 田口則宏, 権田知也, 鷹岡竜一, 長谷川陽子

修練医・認定医・専門医制度委員会

委員長 河相安彦 幹事 大久保昌和
 副委員長 関根秀志
 委員 魚島勝美, 若林則幸, 小泉寛恭, 隅田由香, 原 哲也, 石垣尚一, 高橋一也

修練医・認定医・専門医認定委員会

委員長 大久保力廣 幹事 佐藤洋平
 副委員長 南 弘之
 委員 越智守生, 木本克彦, 小川 匠, 上田康夫, 藤井規孝, 浅野 隆, 小峰 太, 鈴木恭典, 竹内一夫, 田中順子, 安陪 晋, 西村正宏

社会連携委員会

委員長 河野文昭 幹事 大倉一夫
 副委員長 五味治徳
 委員 會田英紀, 吉岡 文, 槇原絵理

国際渉外委員会

委員長 津賀一弘 幹事 土井一矢
 副委員長 築山能大
 委員 近藤祐介, 松香 芳三, 荻原芳幸, 竜 正大, 古屋純一

規程検討委員会

委員長 武部 純 幹事 安藤彰浩
 副委員長 越野 寿
 委員 小峰 太, 飯田 崇, 大野 彩

用語検討委員会

委員長 岡崎定司 幹事 山本さつき
副委員長 鱒見進一
委員 村上 格, 横山正起, 北川 昇, 古地美佳

研究企画推進委員会

委員長 服部佳功 幹事 山口哲史
副委員長 澤瀬 隆
委員 上田康夫, 羽鳥弘毅, 橋本和佳, 沖 和広, 今井敦子

特命委員会

委員長 村田比呂司 幹事 黒木唯文
委員 越野 寿, 小山重人, 吉川峰加

倫理審査委員会

委員長 中本哲自 幹事 長谷川ユカ
副委員長 馬場一美
委員 月村直樹, 篠原光代, 真野 博, 正岡直樹

利益相反委員会

委員長 都尾元宣 幹事 岩堀正俊
委員 志賀 博, 真野 博

令和元・2年度 公益社団法人日本補綴歯科学会代議員一覧

<東北・北海道支部>

會田 英紀	浅井 政一	雨宮 幹樹	上田 康夫	江草 宏	越智 守生	菊池 雅彦
鬼原 英道	越野 寿	小林 琢也	小山 重人	近藤 尚知	齋藤 正恭	佐々木啓一
鈴木 基	清野 晃孝	関根 秀志	高橋 敏幸	高道 理	田邊 憲昌	千葉 豊和
豊下 祥史	中北 芳伸	野村 太郎	服部 佳功	疋田 一洋	廣瀬由紀人	舞田 健夫
松田 葉	松本 知生	山口 哲史	山口 泰彦	山田 将博	山森 徹雄	横山 敦郎

(35名)

<関越支部>

荒井 良明	上田 一彦	魚島 勝美	小野 高裕	加来 賢	黒川 裕臣	小出 馨
佐藤 利英	藤井 規孝	堀 一浩	水橋 史	渡邊 文彦		

(12名)

<東関東支部>

浅野 隆	飯島 守雄	飯田 崇	伊藤 誠康	岩田 昌久	大川 周治	大久保昌和
岡根 秀明	岡本 和彦	河相 安彦	北川 剛至	木本 統	小林 平	小見山 道
佐藤 雅介	鈴木 浩司	関 雅寛	田中 孝明	勅使河原大輔	藤澤 政紀	古谷 容
三浦 賞子	村上 洋	森 宏樹	若見 昌信			

(25名)

<東京支部>

秋山 仁志	荒川 一郎	飯島 裕之	飯沼 利光	石崎 憲	今村 嘉宣	岩佐 文則
上田 貴之	宇美 隆生	大神浩一郎	大谷 賢二	大山 哲生	尾関 雅彦	加藤 均
菊地 康記	北川 昇	小池 麻里	小泉 寛恭	小林健一郎	五味 治徳	小峰 太
佐藤 亨	佐藤 裕二	塩田 真	志賀 博	新谷 明一	菅沼 岳史	隅田 由香
関田 俊明	高津 匡樹	高宮紳一郎	瀧澤 朋章	武田 友孝	塚崎 弘明	月村 直樹
坪田 健嗣	中島 一憲	難波 鍊久	野嶋 昌彦	野本俊太郎	萩原 重一	萩原 芳幸
波多野泰夫	服部麻里子	馬場 一美	樋口 大輔	平野 滋三	笛木 賢治	福永 秀樹
藤井 重壽	藤関 雅嗣	船登 雅彦	古屋 純一	細田 透	堀田 宏巳	堀田 康弘
松田 哲治	松村 英雄	三浦 宏之	水口 俊介	谷田部 優	山下秀一郎	横山 正起
吉田 恵一	若林 則幸					

(65名)

<西関東支部>

青山 繁	井野 智	岩下 英夫	大久保力廣	大野 晃教	小川 匠	川越 元久
木本 克彦	栗原 大介	小泉 政幸	小久保裕司	近藤 永	佐藤 洋平	重田 優子
清水 統太	鈴木 恭典	玉置 勝司	中村 善治	西山雄一郎	濱野 奈穂	星 憲幸

(21名)

<東海支部>

阿部 俊之	荒木 章純	石神 元	岩堀 正俊	宇佐美博志	岡 俊男	尾澤 昌悟
倉澤 郁文	黒岩 昭弘	佐久間重光	竹市 卓郎	竹内 一夫	武部 純	田中 清雄
中本 哲自	新村 弘子	橋本 和佳	秦 正樹	羽鳥 弘毅	日比 英晴	藤原 周
蒔田 真人	都尾 元宣	宮前 真	村上 弘	柳田 史城	山村 理	吉岡 文

(28名)

<関西支部>

新井 是宣	池邊 一典	伊崎 克弥	石垣 尚一	上田 章浩	岡崎 定司	奥田 啓之
奥野 幾久	恩地 良幸	柿本 和俊	柏木 宏介	川本 章代	吉備 政仁	楠本 哲次
高阪 貴之	小正 聡	小正 裕	権田 知也	佐古 好正	佐藤 正樹	十河 基文
高橋 一也	高橋 利士	龍田 光弘	田中 順子	田中 昌博	鳥井 克典	長島 正
中野 環	中村 隆志	西崎 宏	馬場 俊輔	原 朋也	日野 年澄	藤原 到
松田 謙一	瑞森 崇弘	峯 篤史	宮内 修平	向井 友美	六人部慶彦	矢谷 博文
山本さつき	吉峰 茂樹	若林 一道	和田 誠大			(46 名)

<中国・四国支部>

阿部 泰彦	安部倉 仁	池田 隆志	市川 哲雄	今井 誠	河野 文昭	久保 隆靖
窪木 拓男	近藤 一雄	近藤 康弘	貞森 紳丞	里見 圭一	白井 肇	津賀 一弘
友竹 偉則	永尾 寛	中島啓一朗	二川 浩樹	西川 啓介	西川 悟郎	原 哲也
堀 祥二	前川 賢治	松香 芳三	松山 美和	皆木 省吾	吉田 光由	(27 名)

<九州支部>

鮎川 保則	有田 正博	安東 俊介	荻野洋一郎	鎌田 幸治	川口 智弘	黒嶋伸一郎
清水 博史	平 曜輔	田口 則宏	築山 能大	都築 尊	鳥巢 哲朗	中 四良
古谷野 潔	澤瀬 隆	西 恭宏	西村 正宏	野村 賢介	細川 隆司	正木 千尋
鱒見 進一	松浦 尚志	松下 恭之	南 弘之	嶺崎 良人	村田比呂司	山下 潤朗
吉田 兼義						(29 名)
						計 288 名

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和元年度第3回定時理事会
みなし決議に関する理事会議事録

I. 開催日時：令和元年6月24日（月）～令和元年6月28日（金）

II. 開催形式：メール会議

III. 決議形式：書面

IV. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）

現在理事数 20名

定足数 11名

出席理事数 20名

出席した理事の氏名

大川周治（議事録作成者）、馬場一美、志賀 博、横山敦郎、水口俊介、細川隆司、窪木拓男、山口泰彦、佐藤裕二、山森徹雄、藤澤政紀、飯沼利光、大久保力廣、河相安彦、河野文昭、津賀一弘、武部 純、岡崎定司、服部佳功、村田比呂司

V. 監事現在数および出席監事氏名（敬称略）

監事現在数 2名

出席した監事の氏名 佐藤 亨、小出 馨

VI. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 顧問弁護士の委任解除に関する件

平成29年1月1日付法律顧問契約書（法人用）に基づく法律顧問契約を別紙資料の通り解約すること。

VII. VIの事項の提案をした理事

理事 大川周治

VIII. 理事会の決議があったものとみなされた日

令和元年6月28日

上記のとおり、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定により、理事会の決議があったものとみなされたので、これを証するためこの議事録を作成した。

公益社団法人日本補綴歯科学会

議事録作成者 理事長 大 川 周 治 ㊞